

□議員名：山田伸幸

## 1 安心して暮らせるまちづくりについて

論点	全ての地域から市役所・市民病院にアクセスできる交通体系について、市の考えはどうか。
回答	市民の利便性確保のため、地域から市役所や市民病院へ出かけられるよう、市内の人口分布や道路網、経費等も勘案しながら調査研究を行っていく。市民病院へのバス乗り入れについては、グランドオープンには乗り入れができるようにする。

論点	「車いすで歩けるまちづくり条例」制定の考えはないか。
回答	市として条例の制定の予定はないが、関係各課と連携を図りながら、施設や心のバリアフリー化が浸透できるよう福祉のまちづくりに反映をさせていきたい。

論点	通学路の安全について、市の計画では危ない通学路に白線を引くとのことだが、住民の要望は「一方通行にしたらどうか」というものだが、考えはどうか。
回答	一方通行は考えていないが、外側線を引く、速度表示の看板、それから溝ぶたを補充するという3点であり、このうち2カ所については既に実施しており、溝ぶたについて26年度実施をする。

## 2 耐震補強について

論点	市は一般住宅向けに耐震診断と耐震補強に対する補助金制度をもっているが、市民に活用されているのか。 個人住宅などの耐震診断、耐震補強にどう取り組まれていくのか。
回答	一般住宅の耐震化率は約60%になっている。平成20年度から国及び県の補助を受けて、本市においても木造住宅の耐震改修工事費等費用の一部助成を行っている。平成24年度からは建築士の派遣による木造住宅の無料耐震診断を行ってきた。しかし、無料耐震診断実績は合計で15件、住宅の耐震化改修実績は合計3件となっている。

### 3 介護ボランティアポイント制度について

論点	市は介護支援ボランティア制度を、どのように位置づけているのか。
回答	地域の元気な高齢者によるボランティア活動が介護予防につながるという観点から、東京都の稲城市をモデルとし、65歳以上の方がボランティアとして介護支援を行った場合に、ポイントを付与するという制度として進めている。活動者をふやすため、平成26年度から40歳以上を対象者として年齢要件を拡大するとともに、ポイントの持ち越し等の制度拡充を行う予定としている。